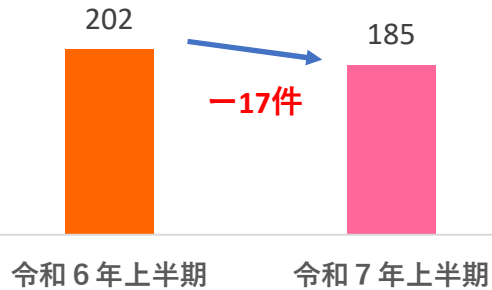
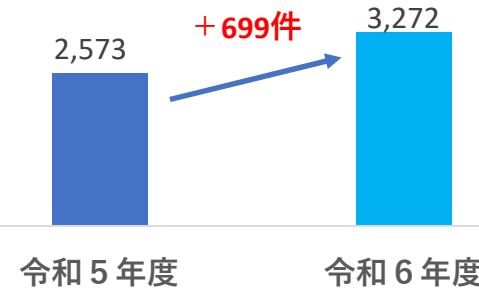


【警察庁】学校等におけるいじめ問題への的確な対応について

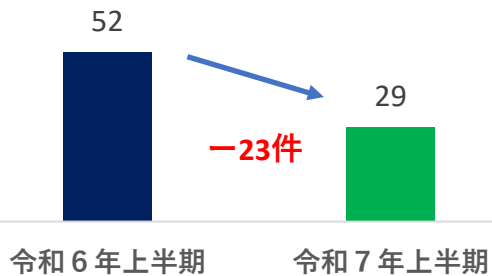
いじめに起因する事件
検挙・補導件数 ※暫定値



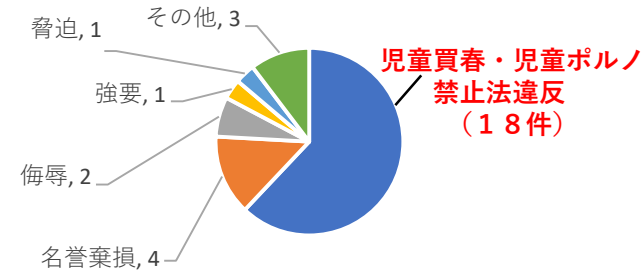
学校がいじめについて警察に
相談・通報した件数 ※文部科学省調べ



いじめ事案におけるインターネット
利用事案の検挙・補導件数 ※暫定値



令和 7 年上半期インターネット利用いじめ事案
罪種別検挙・補導件数 ※暫定値



◆警察対応の基本的な考え方

教育上の配慮等の観点から、一義的には教育現場等における対応を尊重しつつも、**事案の悪質性、重大性及び緊急性、いじめを受けた児童・生徒や保護者の意向、学校等における対応状況等を踏まえながら、警察として必要な対応をとる。**

(※) 学校と日頃から緊密な連携を図るため、次のような取組を実施

スクールサポーター制度 ※44都道府県 約830人配置 (R7.4.1現在)

警察官OB等の非常勤職員を警察署等に配置して、担当する学校への訪問活動(必要に応じて常駐)を行い、校内の巡回、いじめ問題等に関する学校の対応についての助言などを通じて、学校との緊密な連携を図る上での架け橋となっている。

学校警察連絡協議会 ※全都道府県 約2,400協議会を設置 (R7.4.1現在)

いじめ問題を始めとした非行防止等について情報交換の上、具体的な協議を行う場として、警察と学校で連絡協議会を設置している。